

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト  
実施報告書

報告者名	本山 功	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名 山形大学災害環境科学研究センター(現ユニット)・エクステンションサービス推進本部	
	氏名	所属
	本山 功	理学部 理学科 教授
	石垣 和恵	地域教育文化学部 地域教育文化学科 准教授
	熊谷 誠	地域教育文化学部 教育実践研究科 講師
	大森 桂	地域教育文化学部 地域教育文化学科 教授
活動名	防災リカレント講座：地域防災力向上セミナー	
連携して活動を行ったプラットフォーム加盟機関名	山形県、山形市	
活動報告	<p>《活動内容》</p> <p>一般市民対象の防災をテーマとする公開講座の開講。災害発生メカニズムの理解等に加え、体験型の避難所運営ワークショップ実施によって、実践的な学びを提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン講座(全4回)。</li> <li>(1)山形県の活断層と地震活動(本山) (2)山形県の水害・土砂災害(本山)</li> <li>(3)身近な災害への備え(石垣) (4)災害時における加工食品の活用(大森)</li> <li>・避難所設営ワークショップ(本学第一体育館)。</li> <li>(1)避難所解説と運営協力(熊谷) (2)避難所開設と運営体制・避難所体験振り返り(石垣・熊谷)</li> </ul> <p>後援：山形県、山形市 協力：一般社団法人日本即席食品工業協会、株式会社出羽紙器製作所、株式会社タマツ、ミドリ安全株式会社</p> <p>《実施した効果》</p> <p>20人の募集に対して18人の参加者があった。オンライン講座では、山形県主催の防災士養成研修講座の講義内容に比べて専門性の高い話題、あるいは地域に密着した話題を提供し、災害発生メカニズムや災害への備えに関して理解を深めることができた。</p> <p>防災士養成研修講座は座学中心の講座であるが、今回のセミナーでは、ワークショップによって避難所運営を体験することにより、具体的なイメージを得ることができた。参加者は避難者役となって家族にみたとた5人ずつのグループに分かれて段ボールベッドの組み立てや簡易防寒シート、災害用テント、災害用即席食品などについて体験し、さらに振り返りを行うことで避難所運営の課題を自ら抽出し共有することができた。</p> <p>これらの活動を通じて、参加者の防災実践力の向上が期待できる。</p>	

実施スケジュール	≪スケジュール≫ ・令和5年11月1日～12月15日 防災講話（オンデマンド型オンライン講座） (1)山形県の活断層と地震活動（本山） (2)山形県の水害・土砂災害（本山） (3)身近な災害への備え（石垣） ・令和5年11月16日18:00～19:00 防災講話（リアルタイムオンライン講座） (1)災害時における加工食品の活用（大森） ・令和5年12月9日（土）13:00～16:10 避難所設営ワークショップ（本学第一体育館）。 (1)避難所解説と運営協力（熊谷）(2)避難所開設と運営体制・避難所体験振り返り（石垣・熊谷）						
支援金の用途報告	合計 100,000 円						
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	段ボールベッド	ジャバラ式	1	×	8,574	=	8,574円
	アルファ化米		1	×	13,030	=	13,030円
	段ボールベッド	暖段はこベッド 振込手数料	1	×	19,030	=	19,030円
	手動式簡易トイレ ラップポン	ラップポン 専用消耗品	1	×	53,994	=	53,994円
	テプラテープ	6本	1	×	5,192	=	5,192円
	ゼムクリップ		1	×	180	=	180円
次年度の計画について	令和6年度に同様の企画を実施する予定。12月では寒かったため、今回は早めに開催したい。						
本事業へのご意見・要望							
活動に関するHPや情報がございましたら、URLの添付をお願いいたします。	山形大学災害環境科学研究ユニット< <a href="https://yu-rcned.amebaownd.com">https://yu-rcned.amebaownd.com</a> >						

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室  
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp